

発見! 熊野町の「工工」ところ シリーズ 第4回

全国各地にある名所や名物。もちろん熊野町にもたくさんあります。そんな町内に埋もれた、さまざまなモノ・場所などの「工工ところ」を紹介するコーナーです。今回は「呉地地区」からのレポートです。

地域をつなぐ「阿弥陀堂」



前方に広がるのどかな田園風景。そのむこうには灰ヶ峰がきれいに見える。阿弥陀堂の阿弥陀如来さまはいつもこの風景をご覧になっているのだろうか？なんともおだやかで心しずかになる。今日は春のお節供。ここ呉地阿弥陀堂に、うらかな春風とともにお経が響く。

阿弥陀如来像が安置されているこの「阿弥陀堂」は、呉地地区「台」の一角にひっそりと建立されている。以前、このお堂の屏風の裏張りから天文15年（1547年）の書類が発見されたこともあり、創立は室町時代にも遡ると見られている。明治初期までは、呉地・苗代・栃原に相当の壇家があり栄えたそう。



なるほど、その阿弥陀如来像、全身黒づくめのお姿は大変珍しく、由緒あるお寺の風情も残っているが、その後廃寺となり壇家は西光寺に移ったそう。現在のお堂は明治33年に再建されたもの、だとか。

阿弥陀堂法要復活の話が近隣地域からおこったのは、一昨年。「これからもお堂をお守りして、後世にこの文化財を残すことが我々の役割。」という気持ちが一一致した。さて、その法要行事。昔は、賑やかに大太鼓をたたいてアンパンを配っていたそう。そこで昨年度、18年ぶりに再開された法要では、古いならわしを受け継ぎながら、さらに現代風にアレンジ！まず、お寺さまのお経に始まり、竹林でのコンサート、石釜でのアンパン焼きと、夕方まで久しぶりににぎやかに地域の大人や子どもが交流した。「竹林コンサート」では、アフリカの太鼓を中心にした民族音楽を披露。そこで使われた楽器はどれも手作りしてシンプルなもの。竹や木、珍しいものではサボテンでできたものもあった。中南米の国コスタリカの留学生が、素朴で暖かみのある音色にあわせて祈りの舞いを披露するなど、珍しい歌と踊りが心にしみた。今年、阿弥陀堂横の田んぼで作ったモチ米で紅白モチをついてお供え。子ども達の中には「今日が春休みの一歩の思い出だ！」と、持

ついていたカメラ付き携帯でカシャリ！とする場面も。いいショットが撮れたかな？

近年は、昔に比べて地域の行事が少なくなってしまう、ここ熊野町ですら隣近所で顔を合わせる機会がめっきりと減少した。その一方で、日本中で行政単位が大きくなると、地域の小さな規模での繋がりはますます重要性を増す傾向にある。その中で、こうした阿弥陀堂法要を通じて、子どもからお年寄りまで年代を超えて人々が集う機会もなかなか良いものである。こういった人の繋がりに重きをおいた自発的な地域おこしの催しはこれからはますます重要になってくるのではないだろうか。

さて、この阿弥陀堂法要だが、毎年子ども達の春休みの時期にあわせに開催されるそう、ささやかな春の行事としてこれから定着しそうで、来年は春風にさそわれて、一寸お散歩がてら、お参りにいかれてみませんか？



4月14日、臨時会開催

4月14日に行われた臨時会では、3つの常任委員会と議会運営委員会、そして議会広報特別委員会の委員構成を新しくした。

また、委員会の所管事務を一部見直し、「総務委員会」を「総務厚生委員会」に、「文

教厚生委員会」を「文教委員会」に改めた。

委員の構成人数については変更なく、新委員の任期開始は5月7日から。正副委員長については7日以後に各委員内で互選される予定。

議会広報特別委員会	議会運営委員会	産業建設委員会	文教委員会	総務厚生委員会	委員会名	所管事務	委員会構成議員
議会広報等に関すること	議会の運営に関すること	建設部門に関すること	教育部門に関すること	総務部門・民生部門に関すること			
山野千佳子 福垣内宏明 藤河 祥司 大瀬戸宏樹 伊藤真由美 藤本 哲智	馬上 勝登 田原 詩郎 久保隅逸郎 山野千佳子 井上 進 大瀬戸宏樹	尺田 公造 中村 勝義 久保隅逸郎 富士 一彦 大瀬戸宏樹 藤本 哲智	中原 裕侑 南田 秀夫 佛圓 大源 山野千佳子 福垣内宏明 井上 進 伊藤真由美	穂土 正儀 中村 毅 馬上 勝登 田原 詩郎 山吹 富邦 渡 紘八 藤河 祥司			

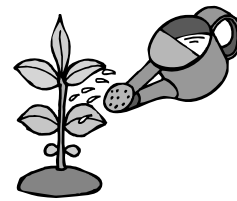
正副委員長は未決定のため、上から議席番号降順に記載。

「町民の声」代弁者として「藤本哲智」氏が加わる。



1名欠員となっていた町議会議員の補欠選挙が3月29日告示され、結果、無投票で「藤本哲智(49)」氏が当選となった。

これにより、平成15年7月末以来、定数である20人で、町民の声を町政に届けられることとなった。任期は、他の議員と同じく平成19年4月29日まで。



委員会活動報告

〈総務委員会視察研修〉
平成17年2月8～10日
8日 福井県小浜市「職員の勤務時間体制について」
「小浜式フレックスタイム制」、「執務時間延長」を実施。平日昼間に行政手続きが行えない住民にとっては、非常に便利な制度だと思われる。

9日 兵庫県小野市「IT関連事業について」
庁舎内のIT化を推進していくことで時間短縮、人件費の縮小など、住民サービスへと繋がるので、議会としても積極的に町行政へ提言を行っていきたい。



小野市では議員も積極的にパソコンを利用。

14日 東京都千代田区「介護予防について」
千代田区は、「介護予防モデル推進地区」となっている。全国的に介護給付額の増加の中で、当町においても高齢者の介護予防に力をいれていく必要がある。



15日 静岡県掛川市「幼保一元化について」
掛川市は、保育園児と幼稚園児の合同活動が可能になり、年齢や保護者の就労形態に区別されない、保育や幼児教育の保障を目指している。当町の保育や幼児教育の方向性についても考える時に来ている。

この阿弥陀堂法要だが、毎年子ども達の春休みの時期にあわせに開催されるそう、ささやかな春の行事としてこれから定着しそうで、来年は春風にさそわれて、一寸お散歩がてら、お参りにいかれてみませんか？